北般若だより

2026年（令和8年）11月1日
第356号
北般若自治振興会
北般若公民館

剪定枝回収リサイクル実証のゆくえ

今年で三年目になる当事業、最初は醍醐地区で、昨年はICパーク隣接の市防災センターで、今年は法科大学駐車場で二回の回収日が当てられた。市の南部地域は砺波平野の散居村で屋敷林が多くみられ剪定枝が多い。市のストックヤードへの距離があることから運搬等の負担解消のため当該地区で発生する剪定枝を燃やせるゴミではなく、資源化しリサイクル率向上を図るため、過去の課題を解決しながら3年目の実証実験として、回数も増やし場所の選定にも苦慮して進めてきている。



今回アンケートに、実証実験の場所や複数回の回収期日指定の是非や回収費用などの設問があり、市職員からこの結果に基づいて早期に具現化したいと発言されています。次回は11月7日です。是非利用され要望を挙げ進めて参りましょう！　　西部金屋　高嶋信一

今年のバス研修は富山 11/17

2025ニューヨーク・タイムズ紙「行くべき52か所に富山市が選定されました。今年は、『文化的感動と発見の富山旅』に出かけませんか。そして楽しみませんか。

- 「竹島家住宅」富山市有形文化財。江戸時代の十村の屋敷をたずねます
- 7月オープンの「レコード歴史展示館60’s」を訪問
- ［昼食］ホテルグランテラス富山（旧、名鉄トヤマホテル）
- 富山電気ビルディング（登録有形文化財　建造物）
- 「TOYAMA きらり」富山市立図書館・ガラス美術館
- 佐藤記念美術館（茶室、助庵見学）呈茶も頂きます

※詳細は、今月配布のチラシをご覧ください。
申し込みは、[11/4～]お待ちしています。
※諸事情により変更がある場合がございます

北般若地区等の動き

11/7．8　戸出文化祭　　11/17　バス研修
11/19　なのはな元気教室　　11/22　敬老の集い

戸出中学校　駅伝健闘!!

10月3日、富山県中学校駅伝競走大会が県総合運動公園陸上競技場・クロスカントリーコースで開催され、県内中学校から男子（6区間18キロ）に56チーム、女子（5区間12キロ）が頂点を目指し、「たすき」をつなぎました。戸出中学校からは選抜の男女計13名が、練習の成果を披露する力走を見せました。



北般若地区からは、男子は3年生の籠　篤生さん（春日）と喜多玄次さん（西部金屋）、女子は1年生の青島絆さん（大清水）と長谷川理子さん（春日）が出場。猛暑なかの練習の成果を発揮しました。区間賞に輝いた篭さんは、富山県代表としてジュニアオリンピック第57回U16陸上競技大会1，000㍍種目に出場されます。（10/23 三重県伊勢市で開催）期待が高まります。

食欲の秋にバーベキュー

徳市自治会では暑い夏を避けて、秋にバーベキューを実施して今年で2回目となります。今年は10月4日（日）多面的事業の後、住民30名ほどの参加を得て昼時に、牛、豚、鶏はもちろん、海鮮もエビ、イカと豊富な食材に舌鼓を打ちました。徳市では当初から焼き手は全員男性が務めており、女性陣からはたまには家でも料理をして欲しいと声が上がりました。中盤にはビンゴ大会も実施され会場は大いに盛り上がりました。子供たちがマシュマロを串にさし、焼き始めると大の大人が「何だそれは？」「旨いのか？」と一緒に焼きはじめ、「なかなか旨い」と2つ3つと手を伸ばして、終盤にはデザートも出て、なかなか豪華なバーベキューとなりました。　　吉田宗夫





春日地区の獅子舞の今

さわやかな秋晴れの下、10月10日、11日に獅子舞を行った。まず春日神社に詣でて神主より神の依代である獅子頭に御幣を頂いた後、家々を回った。獅子舞の順路は、神社を8の字の中心とする4通りの回り方があり、毎年順路を変えている。今年は北部の東回りで、地区の81軒を2日かけて回った。すべての家を回り終えると再び神社に戻って御幣を返し、全演目（※）を披露して獅子舞を終えた。春日では保存会で獅子舞を行うようになってからちょうど30年が経つ。今年は延べ62名の参加があったが、獅子の中に入って舞う人は多くない。特に初日は土曜日で参加が少なく、毎年苦しい運営を強いられている。若い人の定着が思うように進まず、昔からいる会員が踏ん張って存続しているのが現状である。その様な中でも30～40代の中心メンバーは、みんなが楽しい獅子舞、みんなが参加する獅子舞を目指し、工夫して取り組んでいる。その一端を紹介したい。


～獅子頭と御幣～

◇家を巻き込んで盛り上げる…以前は自分の家で舞うことは避けられていたが、今は積極的に舞っている。また、家人が飛び入りで参加することも促している。その際には多くの歓声が上がり、家人と獅子方が一体となって大いに盛り上がっている。


～令和８年度の集合写真～

◇新会員の発掘を進める…広報担当を設け、春日に縁のある人への声かけを強化した。今年は、他所へ嫁いだ人の子や春日に嫁いできた女性が参加するなど新しい動きがあった。

◇LINEグループを活用する…連絡事項のやりとりの他に、練習や当日の写真等を配信し情報を共有している。会の一体感や自らの存在感の醸成につながっている。

獅子舞を行うことを通して、伝統文化が継承され、地区のつながりが強くなる。個人的には後者の意味合いをより大切にしたい。そのためには、これまでの慣習にこだわりすぎず、柔軟な発想で多くの人が参加できる獅子舞の在り方を模索していきたい。

※春日の獅子舞の演目は、サンバサ、2種類のネラ、太鼓のバイ、2種類のゴへ、扇と弓、手ぬぐい、胴切り、剣、鎌、獅子殺しの12種類がある。

春日獅子舞保存会　会長　岡本　裕

民謡が結んだ出会いと家族の絆

私が趣味としている民謡に出会うきっかけになったのは、30代前半の若さで亡くなった父の存在でした。父が大好きだった「越中おわら節」を、ある舞台発表で聞いたことがきっかけで、民謡の魅力に心を奪われてしまいました。あれから 40 年あまりが経ちましたが、努力を重ねてもなかなか思うようには唄えませんでした。すんなりと唄えないことこそ何百年も唄い継がれている要因と魅力なのでは、と感じています。全国には多くの民謡がありますが、秋田県、新潟県、三重県、石川県と「武者修行」と思い各地の「のど自慢大会」に挑戦してきました。私は常に興味をひかれることがあれば、まずは一歩前へ進むことを心掛けています。

現在は、孫たち4人も私に付き合ってくれて、民謡を唄い三味線を奏でるようになり、楽しい時間を共有できるようになったことに感謝しています。古希も過ぎて、振り返ると、趣味を持てたことが人生の後半を豊かなものにしてくれたと思っています。そして何よりも民謡を続けてこられたことで、多くの出会いとご縁があり、今では私の大切な財産となりました。これからは大切な仲間たちと共に、この伝統文化を継承し、次世代の子供たちに伝えて行くことを目標に、日々の練習に励みたいと思っています。



西部金屋　林　春江〔10/25 文化祭にもお孫さんと出演〕